

# 令和元年度 第3回 加西市子ども・子育て会議

日時：令和2年2月6日（木）

14時56分～15時59分

場所：加西市役所1階多目的ホール

## 1. 開会

## 2. 報告 「第2期加西市子ども・子育て支援事業計画（案）」に対する意見募集の結果

### ○A委員

いい意見が書いてあります。「産婦人科が減ってきて、安心して子どもが産めない」と。待機児童の問題も書いてありました。「保育園は一人受かって、もう一人は入れない、でも働いてください。めちゃくちゃです」と。そのとおりですね。

「ご近所周りでも町内組織と言えば、財政面も力面でも圧倒的に老人会独壇場です」と書いてあります。男女共同社会というけれど、加西市の場合はもう本当に年寄りの独壇場です。いわゆる有名な上場企業はルールがあって、会社の役員の25%は女性じゃないとふさわしくないというのがあります。加西市の場合は、男の年寄りの独壇場になって、物事を決めている。そういうところが、加西の子育てがやりにくいところの一つの原因と思います。

「過去に子育てをしてきた人と今子育てしている人が置かれている環境は全く違います。一人だけでは子育てできません」と。まさにそのとおりで、私たちが言ってほしかったことをよく言ってくれたと思います。子どもを産む環境が整っていない。男性や周りの人の理解が追いついていない。子どもを預けるところが不足しているということですね。

加西市でできることというと、国や県がやることもあります、一つは産婦人科。周りに病院がいっぱいあれば、どこでも産めると言えますが、出産って何があるかわかりませんから、赤ちゃん産む女の人はずごく不安だと思います。地元で産婦人科が車で5分か10分で行けるところにあることは大事です。

待機児童は加西市でも数年前から出てきていると。どこの園でも入りたいけど、入れないとか聞きます。これも行政がもうすぐにでも何とかしないとイケない問題だと思います。「一人預かってもらって、もう一人入れない、でも働いてくださいと言われる、めちゃくちゃです」。女性の意見はこのとおりと思います。

### ○会長

ありがとうございます。パブリックコメントを実施したことの一つの効果性っていうのは評価されるべきとおもっておりますね。ありがとうございます。A委員から、このパブリックコメントはよかったと評価をいただいたと思いますが、おそらく皆さんもそのように感じられたと思います。

一つ言葉をつけ加えますと、今のキーワードは「社会的擁護」という言葉を使います。つまり、養護施設で子どもを育てるとか、保育所とか幼稚園だけでなく、社会がすべての子どもたちの最善

の利益と幸せを支えていくという責任、義務、そして具体的な取り組みというのが求められてきています。いろんな子育てもまさに社会的子育てという言葉を使っていいと思いますね。

国においても、子育てに関しては、社会全体総がかりで、地域総がかりでという言葉が空回りしてるようですが、加西市もそのラインの中でありますから、総論ではなくて、具体的な詰めを。

インフラ環境と財政等も非常に必要ですが、考え方をまずそこに置いて、できるところからどんどん、社会システムを構築、推進していくことを、議会や市長は考えておられると思いますので、そんなことも期待しながら感じております。

それでは議題に移ります。第2期加西市子ども・子育て支援事業計画案答申案について説明をお願いします。

### 3. 議題 「第2期加西市子ども子育て支援事業計画」(案)、答申(案)について

#### ○A委員

待機児童の解消というところで、2行新たに加えて、やる気は伝わりますが、具体的に待機児童の15人ですね。今年中に解消して、来年度はプラス1にもっていきたいというのは、具体的にどんなことを考えておられるか聞かしていただいていた方がいいですか。

#### ○事務局

公立、私立のこども園の整備をしており、一定の改善は進んでいますが、さらにもう1年先、令和3年に、すべての園が認定こども園の体制になり、そういった面で、施設整備が進み、改善がみられると考えています。

#### ○A委員

それは希望的観測に聞こえるんですね。子どもが何人いて、0歳児、1、2歳児が何人いて、どれぐらいの預けたいという親御さんの希望があって、これにいくら足らんとか、足りない理由は何か、部屋なのか職員なのか、具体的にどれを改善すれば、15人増やせるとわかりますが、ただ、こども園になるから大丈夫ということでは、どうかなと思います。そこをもう少し具体的に言ってもらえますか。

#### ○事務局

計画書の36頁です。児童推計人口に対して、0、1、2歳児の人数、それに対する保育ニーズの予測を立てています。それに対してどう確保するか、提供量を提示しています。この提供量が最終的には認定こども園、保育所等で0歳児が令和3年以降は確保できると考えております。

ただ、この年は確保していますが、それ以降も当然、ニーズ量は増えていきますので、受け皿の確保をしていかないといけないと思っております。その部分については、認定こども園、保育所だけではなく、その他の保育施設で補っていく必要があると考えており、私立園あるいは事業所と連携をとりながら、小規模のそういった施設の整備も含めて改善を図っていくということで、数字上は0という計画をまとめています。

#### ○A委員

小規模な保育施設を使うのはすごくいいと思います。今は余りありませんから、加西市はね。小さくていろいろ小回りが利くところが、今の時代に求められているんで、市は200人規模の大きなものをつくられましたけれど、これだけではこの隙間を埋められない、小回りが利かない。

実際に、うちもお断りする場合がよくあるんです。なぜ、待機児童が出るかというのと、職員がどうしても間に合わないということなんですよ。初めに、職員を入れます。これぐらいの職員が必要やと思って雇ってしまったら、ずっと雇うと1年、2年と給料を払うわけですね。ところが、子どもが入ってくれないときがありましてね。そうすると、収入と支出の差が大きくなって、経営が厳しくなる。雇う限り、すぐに辞めると言えませんので、そうするとぎりぎりのところを考えると、プラス1かあるいはこれでいけるかなぐらいのところをやる。公立もそうだと思いますが、民間の経営者はそれが悩みの一つだと思います。

だから、プラス1か2ぐらいを余裕で持っている、年度途中で赤ちゃんも途中で産まれるわけですから、ニーズがあった場合に大丈夫と言えますが、どうしてもぎりぎりでやらないといけない。なぜなら赤字になると、こけてしまいますからね。それで、待機児童対策は、一つは余裕をもって人員配置ができるようにということで、加西市も力を入れてもらえないかな。公立だけじゃなく私立もね。

5万人都市の再生というのは、市政の一番大きな目標ですから、若い人は住みたいと思うには、待機児童はいませんよということを胸張って言うようにするためには、具体的に数字も落としてもらって、お金は余分にかかるかもしれないけれど、市議会に通してもらって、各園にプラスもう1人か2人、保育士を置けるようにしてもらえませんか。そうなれば保育の質も向上すると思います。

#### ○会長

答申というのは、非常に総括したもので、具体性に限界がありますが、今後推進するとか取り組むというときに常に具体的なプラン、具体的なものをもって推進するという前提でありますので、そういったことは事務局も手持ちの段取りの中で、デザインの中で持っていますので、我々委員としては、総論で空回りするのではなくて、常に具体的に進めてくださいと言ったところをご意見として頂戴しておきます。答申の中には、報告書の中には十分盛り込めないとしても、常にそれはかませておくという、そういう市としての体制を求める意見とっております。よろしくどうぞお願いいたします。ほかに意見ございますでしょうか。

#### ○B委員

保育士の確保というところでは、各園苦勞されていると思います。今度6月に保育士の就職フェアを加西市で予定しています。大学の先生にお話を伺いましたら、今の学生はやはり阪神間の、条件のいい方に流れてしまうということを常に聞きます。加西市も学生に条件のいいところをプラスしていただくと、少しでもまたこちらに学生も目を向けられるのではないかとということで、住宅手当ですね。加西市の予算では今のところ考えておられるのでしょうか。遠いところから通われる方にとっては、住宅手当が阪神間や近隣のところでは出ているということを知っています。そういうところも学生にとっては魅力ではないかなと思います。

保育士が不足したり、また1人、2人余裕があるというその我々、現場の者は、本当に朝から晩まで忙しくシフトで動いておりますので、そういう点も待機児童の関係も解消できる1つの案ではないかなと思います。

○事務局

保育士の確保の部分も大事なところです。ご提案いただいた住宅手当の件も近隣の状況も調べながら、加西市としてどういう形ができるのか、そのあたりを検討させていただきたいと思います。

○会長

必ず中に視点としては組み込んでおいていただきたいと思います。

○C委員

25頁に学童保育の充実という言葉を使っていますが、38頁には放課後児童健全育成事業という補助金事業名を印字してあり、同じものだと思いますが、ちょっと混乱するかな。ですから統一されるほうがいいと思います。

○事務局

統一させていただきます。ありがとうございます。

○会長

今、いろんなご意見をここで、具体的に書きつけ加える、修正するという事は、一応意見として伝えました。具体案等についてもご指摘ありましたので、ご指摘いただいた点は事務局で修正していただくということを確認していただく、修正していただけますね。つけ加え等々ですね。

○事務局

計画については、最終的にまた文言の整理、調整をさせていただきます。

○会長

修正後の答申書を配付してください。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

本委員会の審議は終わりましたので、答申に移ってよろしいですかね。この答申で承認されたということよろしいですか。

それでは、議事が終了しましたので、答申の準備とその後の進行を事務局にお願いしたいと思います。

○事務局

第2期加西市子ども・子育て支援事業計画の答申を承認いただきましたので、会長から市長に答申書をお渡しいただきます。

(会長から市長に答申書が手渡される)

○市長

ありがとうございました。お疲れさまでした。

○会長

なお、1点つけ加えますと、推進、取り組むということにおいては、今日も意見が出ましたように、具体的に、具体的に少しずつ進んでいただければありがたいと思っております。そのことが市民の皆さん方に伝わるようにまた考慮をしていただければと思っております。よろしくどうぞお願いします。

○市長

お礼のご挨拶を申し上げます。加西市の2期目の子ども・子育て新事業計画、また答申をいただきました。誠実に実現に向けて努力してまいりたいと思っております。今年度が第1期の5年目の年ということではありますが、結果から見ると、皆さんの期待に十分応えられていないかなと思っております。それは明快に出口の指標でありまして、若い子どもを生み育てる方々の人口の流出が如何ともしがたく続いております。それも近隣に出ているということで、なかなか我々の努力は皆さんの期待には応えてないと、そのように思っています。

出生数もどんどん減っております。そういう意味で、出口が明快でありますので、その答えに向けて、それを実現しないと意味がないわけでありまして、先ほども具体的なところをおっしゃられました。私も、もう具体を提示して、それを実現するというのが一番大事だと思っております。

やはりリアルに働きかけないと何の意味もないと思っております、私なりに努力した結果が先ほど言ったようなことでありまして、ただ、これはあきらめきれない課題でありまして、努力し続けなければならない課題であります。そして、このお礼の中で来年度予算に向けた我々の今の考えを提案について、皆さんにご紹介を申し上げてお礼にします。

まず、日本全国で、これは国保税の課題ですが、子どもたちについても均等割、加西市の場合、3万6,000円ですが、それが一人増えるごとに3万6,000円税金が増えていくという国保税の仕組みであります。我々、全国市長会等では国のほうで社会保険は所得に応じてということに統一されているので、子育て世代についても大変大きな負担であり、制度変更を要望しておりますが、なかなか国がやりません。幸い、加西市の国保は、運よくといいますか、基金も一定額ある状況でありまして、また安定的な経営がここ3年ほどできていますので、年1,600万円ぐらいかかりますが、0歳から18歳までの国保税について均等割は免除ということにいたしました。もちろん、これは所得に応じて軽減制度がありますので、軽減制度であると負担しなければならない部分について負担をすることにしました。

そして、対象者は限られていますが、子ども医療費、中学校まで、入院、通院ともに無料にしております。先ほどの若い女性の世代が、子どもを大いに育てている世代が、転出超過になっているということを申し上げましたが、その中の1つの要素として、所得制限を設けているということが明快にあると思っております、所得制限も撤廃することにいたしました。

また、そしてご存じのとおり、国の子育て支援策の充実の中で、3歳から5歳は保育料無料と、そして0歳から2歳までは非課税世帯については無料という大きな国全体での前進がありましたので、我々が今まで4歳、5歳無料にしておりましたが、そのお金で対応できるということで、給食費をもう既に無料にして、3歳から5歳までですが、その世帯については無料にしております。

皆さんのやはり暮らし向きにしっかり応えること、大変重要でありますので、引き続き必要なことをやっていきたいと思っております。

先ほど待機児童の問題がありましたが、本当に待機児童が出ている状況は早期に解消しなければなりません、民間園も含めて、認定こども園化ということをやっていた中で、0から2歳、0から2歳がもうほとんどありますので、0から2歳の部分についての施設の充実、我々の今、泉よつばこども園を整備していますが、その中で一定の解消は図れると思っております。当然、解消を図る中で、また希望者が増えていくことにもなりますので、そこは本当に小規模なものも含めて、そして何よりも我々、今、公立園が大変北播でも割合的に多い状況でありますので、民間の方でお任

せできるところは、もうどんどんお任せしたいと思っています。引き受けていただけるところは、引き受けていただき、そして公立の役割を特化して、社会状況に応じて必要とされるサービス、その中で採算に合わないもの、経営に合わないものについては市がやっていくということで、公立の役割としてしっかりやっていきたいと思っています。民間の経営の中でやっていただける部分については、もうどんどん私はお任せしたい。スピード感をもってお任せしたい。それが加西市財政に持続性を持たせることであります。

全て民間園であれば、ここができれば5園になりますが、民間園であれば、年間4億2,000万円、市としては助かる。これは数字上のことだけですが、1つでも2つでもできるだけ早くお任せして、そして我々がやるべきところをしっかりと財政投入して対応してきますので、引き続きのご協力をお願いします。また、保護者の皆さんも大変熱心にご議論いただきましてありがとうございます。

一緒にいい市をつくってまいりたいと思っていますので、あきらめずにいろんな意見を言ってください。

そして明るい状況を少し報告します。ふるさと納税でありまして、いろんなところで喋っています。3月末で締まりますが、去年は7億1,400万円集まり、今年は既に18億6,000万円集まっています。20億円ぐらいは目標にしてやっています。これは本当に、今直ちに我々がやるべき課題に対応できるお金でありまして、半分は経費に要りますが、20億円集まれば10億円は我々自由に使えるというお金であります。ここからお願いですが、これはもう誰もが得をする制度でありまして、ぜひいろんな知り合いの方々に、市外の方に加西市を応援してほしいということで、ふるさと納税を勧めていただきたいなど、それが皆さんの暮らしに対して少しでも前に進めることに間違いなくなりますので、よろしく願いして、少し長くなりましたが、皆さんに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

#### ○会長

具体的なことをお示しいただきました。ありがとうございました。我々、市長のご提案等含めて、ずっと確かめ続けていきたいと思っています。私も加西市に愛着を持っておりまして、会長としても見届けたいと、確認したいと、こういうふうに思っておりますので、よろしくどうぞお願いいたします。ありがとうございました。

## 4. その他

#### ○事務局

ありがとうございました。来年度以降のこの子ども子育て会議についてです。計画の進捗管理でありますとか、今後の子育て支援に関する課題について、また継続して協議をしてみたいと思っておりますので、各委員様の任期は今回限りであります。来年度以降も継続して役づきの委員の方につきましても、新年度4月より再度改めて委員の就任をお願いしたいと思っております。

その際はぜひまたよろしく願いいたします。

## 5. 閉会

○教育部長

失礼いたします。昨年度から数えますと、計5回にわたりまして、この会議の場におきまして、皆さまにはそれぞれのお立場から貴重なご意見、あるいはご議論いただきましてまことにありがとうございました。また、先ほど市長に答申いただきましたこと、厚く御礼申し上げます。子ども・子育て支援法に基づく加西市子ども・子育て支援事業計画でありますけれども、多面的な視野のもとご議論いただき、5カ年の道筋をつけていただきましたこと、そして、その計画にあります具体的な施策、事業を積極的に推進することによりまして、基本理念であります安心して産みで育てられる加西市づくりを実現させていきたいというふうに考えております。とは申しましても、全て手際よく進むかどうか様々な問題も含め、山あり谷ありかと思っておりますけれども、基本理念に立ち返りまして、計画に沿って子育て世代への支援、安心して子育てができる環境づくりに努めてまいりたいと思います。委員の皆様には今後とも子育てに関する施策の進捗状況の検証、並びにご指導賜りますようお願い申し上げます。これを持ちまして本日の会議を終了させていただきます。長きにわたりお世話になり本当にありがとうございました。

了